

OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）

シンポジウム参加者アンケート結果

2024年（令和6年）3月

藤沢市企画政策部企画政策課

OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）シンポジウム

参加者アンケート結果

1 概要

(1) 開催目的

OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）の推進に当たり、生活・文化拠点を育てるプレイヤーとなる市民、団体、地域コミュニティと、行政、民間事業者の三者が連携するかたちの市民協働のあり方を考えるとともに、今後、本プロジェクトにおける市民参画プラットフォームをつくり、育てていくことを目的に開催しました。

(2) 開催内容

ア 時間 2024年（令和6年）2月20日（火）午後6時～8時45分まで

イ 場所 藤沢市民会館 小ホール

ウ 内容 ・事業説明「OUR Projectに係るこれまでの経過と今後の取組」
（藤沢市企画政策部企画政策課）

・ショートプレゼン講演①

「「わたし」から社会を変えるー住民や課題当事者との協働ー」

講師：一般社団法人公共とデザイン 共同代表 石川 理華 氏

・ショートプレゼン講演②

「場をつくる、地域をつくるー芸術・文化による共創ー」

講師：独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンター

主任研究員 稲庭 彩和子 氏

・トークセッション

「OUR Projectにおける市民参画プラットフォームをつくり、育てるために」

登壇者：石塚 理華 氏、稲庭 彩和子 氏

[進行]李明喜 氏（アカデミック・リソース・ガイド株式会社）

エ 参加者人数 105名

(3) アンケート実施方法

シンポジウム当日、参加者に対し、【別紙】「次第兼アンケート用紙」を配布し、二次元コードの回答フォーム（Google フォーム）より任意での回答を受け付けました。

(4) 回答状況

参加者105人のうち、26人が回答（回答率24.7%）

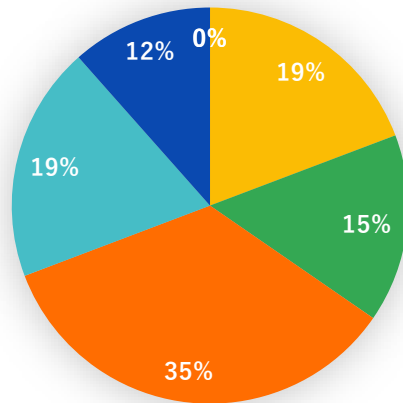
(5) 結果を見る上での注意事項

- ・ 回答者数は26人です。
- ・ 複数回答可（2つ以上選んでよい問）においては、回答数の合計を表示しています。
- ・ 百分率（％）の計算は、小数第1位を四捨五入し、整数で表示しています。
- ・ 自由記述のご意見・ご感想については、本シンポジウム及び本プロジェクトに関係のない内容を除き、全文掲載しております。言い回し、誤字等により、一部文言を訂正して記載しています。

なお、紙のアンケート用紙でご回答いただいた中で、手書きの記述内容が読み取れない等で一部記載できないものは除かせていただいておりますので、ご了承ください。

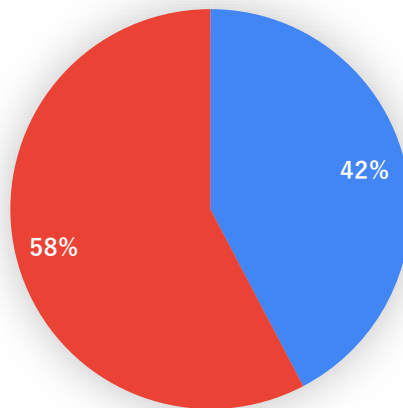
2 集計結果

(1) 質問1 あなたの年齢についてお答えください。



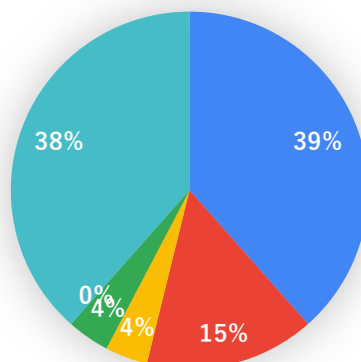
■10代 ■20代 ■30代 ■40代 ■50代 ■60代 ■70代以上

(2) 質問2 あなたのお住まいについてお答えください。



■市内 ■市外

(3) 質問3 あなたの職業についてお答えください。



■会社員 ■パート・アルバイト ■自営業
■専業主婦・主夫 ■学生 ■その他

➤ その他回答：NPO 職員等

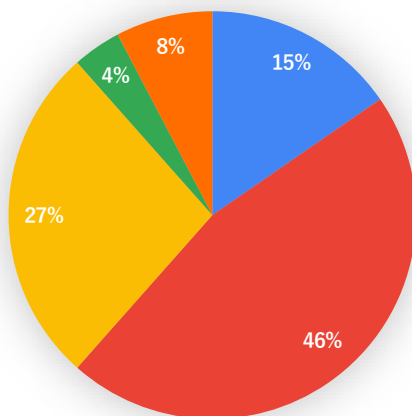
(4) 質問4 本日のシンポジウムを知ったきっかけを教えてください。(複数選択可)

広報ふじさわ	市ホームページ	LINE	チラシ	知人・友人	その他	合計
5	11	4	4	7	1	32

➤ その他回答：職場内等

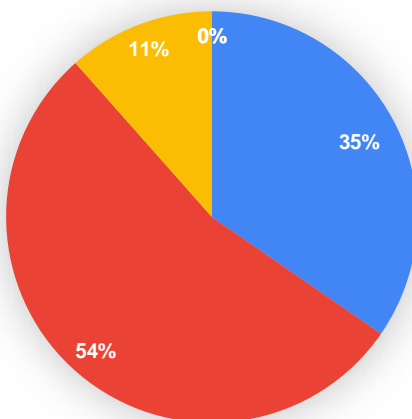
(5) 質問5 以下の各プログラムの内容はいかがでしたか？

ア [ショートプレゼン講演①]



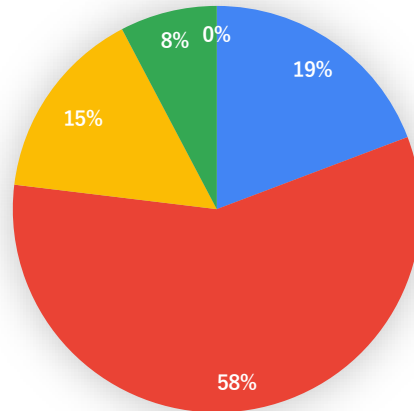
■とても良かった ■良かった ■普通 ■あまり良くなかった ■良くなかった

イ [ショートプレゼン講演②]



■とても良かった ■良かった ■普通 ■あまり良くなかった ■良くなかった

ウ [トークセッション]



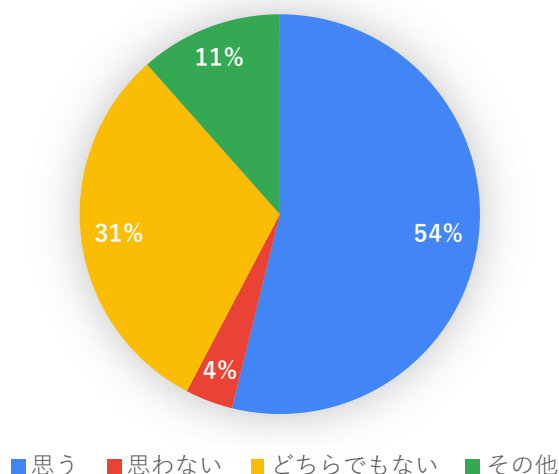
■とても良かった ■良かった ■普通 ■あまり良くなかった ■良くなかった

(6) 質問6 各プログラムに対するご意見ご感想など自由にご記入ください。(自由記述)

- ・ 20:45 までは少し長すぎるように思いました。
- ・ 参考になったが、OUR Project でどのような具体的な提案ができるのかももう少し話してほしかった。
- ・ とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ トークセッションの冒頭の話（趣旨）をあらかじめ聞いてからショートプレゼンを聞いたほうが、各プレゼンの話が理解できたと思います。また、デザインが凝られたスライドの分、洗練されすぎて見えない文字があったので、さらに年齢の高い方には見えなかったスライドがあるのではないかと思います。コストはかかりますが、共通言語を作る素地として可能な範囲で配布いただきたかったです。
- ・ とても今回のプロジェクトに合ったプログラムだったと思います。
- ・ 公共文化施設等の運営事業者として参考にさせていただきたく、参加させていただきました。石塚様のお話は、私も施設で地域の環境活動団体と連携し、コンポスト作成をやっておりましたので、大変興味深くお話を聞きました。市民を巻き込むというのは、なかなか時間も労力も必要になり、なかなか持続が難しい面もあると大変共感いたします。また、稲庭様がお話されていた、必ず解散させることでフラットな関係を作るというお考えは良い発見となりました。個人的には東京文化会館に勤めていたことがありましたので、「あいうえの」が懐かしかったです。本日は大変貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。
- ・ 登壇者の皆さんの発表及び発言はとても興味深い内容でしたが、トークセッションのテーマに結びつけることが難しかったです。理解力不足なのは承知ですが、藤沢市の場合、こんなことが考えられますね、という話題まで膨らむと尚よかったです。

- ・ 楽しく面白かったです。いきなり質疑応答と言われたけれど、何処にも質疑応答するとかいてないので準備できませんでした。質問者さんがいつまでも立っていて座ってくださいとか言わないのかな、配慮がないなと思いました。
- ・ 申し訳ないですが、ショートプレゼン①は講演というレベルに達していないのかなと思いました。トークセッションはファシリテーターの実力不足でお二人の良さやプロジェクトの繋がりを引き出せていませんでした。残念でした。
- ・ 市民参画を促進するヒントが満載で、大変興味深かったです。アートの場合、多様な世代が交わり、つなぎとしてコミュニケーションとなる視点、実践している現場の声は説得力がありました。
- ・ トークセッションが非常によかった。考え方を変える必要があると感じました。
- ・ シンポジウムでは、講師により市民参加がもたらす社会的意義について理解が深められ有益な会合であったと思います。
- ・ トビラー、市民がプレイヤーになること、学びと実戦が両立しているので素晴らしいと思いました。
- ・ 市民の「参加のしかたの力(パワー)は、グラデーションがあってよい事」が、とても府におちました。早速仲間と共有し、関わりかたを見直そうとした人が、グラデーションの薄いところならでと、力を貸してくれることになりました。また、トビラーの予算配分についてどうされているか知りたくなりました。郷土づくり推進会議での予算などは前年6月ぐらいから固めなくてはならないので…、解散を決める、ラボ形式の企画が実践的でよいと思いました。
- ・ トークセッションでは講演を踏まえたお二人の話が聞いて良かった。特にプラットフォームの構築の難しさが聞いていて参考になった。
- ・ トークセッションは、藤沢市 OUR Project に関することも少し触れられ、なるほどと思うこともあった。
- ・ それぞれのセッションにインスピレーションがあり、興味深く聞かせていただきました。もう少し聞きたかった視点は、「藤沢で」実践、実装していくとしたら、私たちにはどのようなアセットがあり、課題があるのだろうかという視点です。
- ・ トークセッションは関心をもてたが、自分の現状でのこのプロジェクトへの知識が少ないため、具体イメージをもてなかった。各プログラムでのプロジェクトの難しさは理解できた。

(7) 質問7 今後、本プロジェクトの取組や市民参画プラットフォームに関わってみたいと思いますか？



(8) 質問8 「質問7」の選択理由を教えてください。また、「思う」と回答した方は、どのように主体的に関わってみたいと考えていますか？（自由記述）

[思う]

- ・ 公民連携事業者として。
- ・ アートによる社会課題の解決策の創造。
- ・ 思い描く姿を実現していくプロセスを感じてみたい。
- ・ 市民参加型のプロジェクト進め方に興味がある。
- ・ OUR Project は、施設の枠を超えたまちづくり的な観点も重要なポイントになると思います。さまざまな事業者、市内団体や市民、そして藤沢市様とともに、新しい施設がさまざまな意味での中心拠点や居場所になるよう考えていけるのが良いかと思えます。
- ・ あー、開設は66歳かあとおもいました。が、みているだけでも楽しそうです。
- ・ 会場から、「自分が何か行動しても社会に影響を及ぼすことはない」という諦観について発言がありました。ネット情報が広範囲に普及し、しかも高速化することで、自分が社会から切り離されているという認識は反比例するように深まっていると私も感じます。
- ・ 実施計画などにも関わりたい。計画だけでなく、実行段階までも関われたらとおもいます。
- ・ 地の利の良さを活かして、人と資源（リサイクル、リペア、コンポストなどの拠点）がめぐるステーションを設置し、運営してみたい。

- ・ プロジェクトの進捗状況を知ることができたり、意見交換の場があれば、積極的に参加したい。
- ・ プロジェクトのお話を聞いて、純粹にとってもワクワクしたので、OUR project がいいプロジェクトでなるよう、声を出していきたいと思ったから。
- ・ このプロジェクトについての現在までの内容や情報の市民への公開があまりに少なく（パブリックコメントへの回答も残念ながら「自分が知りたかったことははぐらかされてしまった」というのが感想です。）、今日のプレゼンでの方向性は理解できても、その方向性を複合施設での新しい実践をイメージしようと思えないもどかしさを感じている。プラットフォームのイメージを感じてみたい。

[どちらでもない]

- ・ 興味は有るが、積極的には動くことが出来ないため。
- ・ 市の取り組み方を、これから共創するにせよ見通しでもよいので、もう少し伺いたかったからです。
- ・ これからの機運醸成によるかと思います。
- ・ 在住地から離れているので身近に感じられない。

(9) 質問9 本プロジェクトへ期待することなど自由にご記入ください。(自由記述)

- ・ アートによる社会課題の解決策の創造。
- ・ 民間事業者が参画することが予定されているのであれば、彼らのアイデアなども吸収できるプラットフォームにする方がおもしろいと思う。
- ・ 場所のロケーションが難しいと思っています。広いようでそこまででもないような。お金をかけて変わった建物をつくるのではなく、アイデアで新しいランドマークを作っていただきたいと思います。
- ・ プレゼンテーションの内容の様に、出来ないではなく何が出来るかが、重要だと思いました。
- ・ アートコミュニケーターではないが市民会館再生コミュニケーターが施設運営に継続的に参加できる仕組みが出来ることを期待します。
- ・ 区内団体と協働し、アートをフックにした交流創造事業を現在行なっております。ある事業者様と、区民に何かを「提供する」のではなく、何をするか一緒に考えていく運営方が良いと話しています。ジャンルの縦割りでの事業実施ではなく、アート×オペラなど融合的な事業も増やしていけると良いと思います。今後はさまざまな機能が複合される分、それが実現しやすくなると思います。多様な分野で多様な人々が繋がる施設は理想的だと思います。

- ・ 多くの事例を藤沢市の取り組みとして具体化する段階なのだろうと思います。これからも期待しております。
- ・ 鵜沼東は土地が低いこと、過去に水がでたこと、湿気が多いことが気になります。
- ・ 市民活動は余裕があるからこそできると思う。藤沢市が住みやすくあり続けるために、市民活動を支援するステージを整える行政全体の在り方に期待しています。
- ・ 魅力ある施設や地域になるよう期待しています。
- ・ 行政は、市民の意見要望を聞くことを行政上の手順として認識していないでしょうか。議論を喚起するよりも、公平性の観点から「市民の意見は様々であり、その全てに対応することは困難」という姿勢を感じます。また、ワークショップやパブリックコメントを実施することで、市民の意見を汲み取る手順は踏んだというアライヤやガス抜きになっていないでしょうか。参加者や発言者から徒労感の思いを耳にすることは少なくありません。こうしたことから、今回の OUR プロジェクトが、手続き上の「市民参加」ではなく、「市民の行動によって周囲の関係性は変化し、社会に影響を与えうる」という実感を醸成することにこそ本来の目的があることを明確にした上で、「市民参加」の制度設計に役立ててほしいと感じました。
- ・ 複合施設に介入したい企業、施設関係者がほとんどであったように感じた。市民参加型のプロジェクトであってほしい。関係施設管理者にも若返りが必要だと思います。
- ・ 本当に our product になるように、市民の未来を形にできる施設にしたいです。また、ここを拠点に各地区の活動にも波及するような 人が活きるまちにしたいです。
- ・ いろんな意見を取り入れすぎて身動きが取りづらくなっていると思うけど、藤沢の拠点になるよう、頑張ってください。
- ・ 既存の施設の集約だけでは市民の参画は望めないと思いますので、ビジョンにあるような（公共に資する）チャレンジを推進できるプロジェクトになることを期待します。
- ・ シンポジウムの中では、「市民参画」がどのように行われるのかまだ周知されていなかったなので、ぜひ今後情報発信をお願いいたします。とても興味があります。
- ・ 自分の勉強不足もあるが、このプロジェクトでの今後の具体イメージがもてないため、最後までピンとこなかった。関連情報をもっと公開して欲しい。本日のシンポジウムの趣旨やポイントを理解できたのは終わり近くになってからだった。

以 上

OUR Project (生活・文化拠点再整備事業)

シンポジウム参加者アンケート結果

2024年(令和6年)3月

藤沢市役所企画政策部企画政策課

公共施設再整備担当

〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1

TEL 0466-25-1111 (内線 2172)

FAX 0466-50-8436

E-mail fj-kikaku-fm@city.fujisawa.lg.jp

「OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）における

市民参画プラットフォームをつくり、育てるために」

2024年2月20日（火）

午後6時～8時45分

藤沢市民会館小ホール

1. 開会

2. 事業説明

「OUR Projectに係るこれまでの経過と今後の取組」（15分）

（藤沢市 企画政策部 企画政策課）

3. ショートプレゼン講演

（1）「わたし」から社会を変える－住民や課題当事者との協働－」（30分）

講師 一般社団法人公共とデザイン 共同代表 石塚 理華 氏

（2）「場をつくる、地域をつくる－芸術・文化による共創－」（30分）

講師 独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンター 主任研究員

稲庭 彩和子 氏

【休憩（10分）】

4. トークセッション

「OUR Projectにおける市民参画プラットフォームをつくり、育てるために」（70分）

5. 閉会

■アンケートご協力のお願ひ■

今後のプロジェクトの取組の参考にするためアンケートにご協力をお願いいたします。

次の二次元コードを読み取っていただき回答フォームにご記入ください。

※回答期間：シンポジウム会場受付後から2024年2月27日（火）正午まで

【アンケート回答フォーム】



【企画政策課 公共施設再整備担当】

シンポジウム「OUR Project（生活・文化拠点再整備事業） における市民参画プラットフォームをつくり、育てるために」

参加者アンケート

本日は、OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）シンポジウム「OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）における市民参画プラットフォームをつくり、育てるために」にご参加いただきありがとうございます。

今後のプロジェクトの取組の参考とさせていただくため、アンケートのご協力をお願いいたします。

※該当する選択肢に○を、自由記述欄にはご意見感想などをご記入ください。

質問1 あなたの年齢についてお答えください。

・10代 ・20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代以上

質問2 あなたのお住まいについてお答えください。

・市内 ・市外

質問3 あなたの職業についてお答えください。

・会社員 ・パート・アルバイト ・自営業 ・専業主婦・主夫 ・学生
・その他（)

質問4 本日のシンポジウムを知ったきっかけを教えてください。（複数選択可）

・広報ふじさわ ・市ホームページ ・LINE ・チラシ ・知人・友人
・その他（)

質問5 以下の各プログラムの内容はいかがでしたか？

ショートプレゼン講演①

・とても良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

ショートプレゼン講演②

・とても良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

トークセッション

・とても良かった ・良かった ・普通 ・あまり良くなかった ・良くなかった

【裏面につづく】

質問6 各プログラムに対するご意見ご感想など自由にご記入ください。(自由記述)

質問7 今後、本プロジェクトの取組や市民参画プラットフォームに関わってみたいと思いますか？

- ・思う
- ・思わない
- ・どちらでもない
- ・その他 ()

質問8 「質問7」の選択理由を教えてください。また、「思う」と回答した方は、どのように主体的に関わってみたいと考えていますか？ (自由記述)

質問9 本プロジェクトへ期待することなど自由にご記入ください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、お帰りの際に会場出口の職員にお渡しく下さい。